

～お寄せいただいたご寄付の使途報告～
「第1回赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」助成団体

1 (一社) 信州親子塾 (長野市)

新型コロナウイルス感染症の影響により居場所をなくした子ども若者を守る事業

助成決定額 100,000円

2 暮らし・雇用・営業をまもる
反貧困ネットワーク佐久 (佐久市)

まちかど生活労働相談と対象者への食事提供

助成決定額 100,000円

3 (特非) 辰野自立生活支援の会
あかり (辰野町)

町内の小中学生におにぎりの配布

助成決定額 40,000円

4 (特非) たくさんの手 (富士見町)

コロナ感染防止のため、外出を控えている家庭への支援

助成決定額 100,000円

5 下手でいい！下手がいい！
心通わす絵手紙の会 (佐久市)

絵手紙を通じて地域住民の思いや感謝の想いをひとつにつなげよう！

助成決定額 100,000円

6 おやあ？カフェ (富士見町)

学校再開時において、強く不安を抱えやすい子どもとその親のサポート

助成決定額 100,000円

7 (福) 富士見町社会福祉協議会 (富士見町)

Pono(ポノ) 福祉緊急出張所 (新たな居場所における生活様式における生活様式に向けた活動支援づくりへの取組場所)

助成決定額 100,000円

8 (特非) ITサポート銀のかささぎ(長野市)

貧困家庭へのオンライン学習支援活動

助成決定額 100,000円

9 (特非) ながのこどもの城
いきいきプロジェクト (長野市)

子どもの居場所@バーチャル

助成決定額 110,000円

10 岡谷子ども劇場 (岡谷市)

心をつなぐ、笑顔を贈る、生の体験

助成決定額 100,000円

11 信州こども食堂 古里こどもカフェ(長野市)

日常生活に不安を抱える子どもと家族、一人暮らし高齢者の緊急支援

助成決定額 75,000円

12 めぐる食堂 (信濃町)

めぐる食堂配食事業

助成決定額 75,000円

13 (特非) 飯綱高原よっころしょ (長野市)

ヤギキッズ@バーチャル

助成決定額 100,000円

14 (特非) ぽこ あ ぽこ (茅野市)

地域の親子応援事業

助成決定額 100,000円



長野県共同募金会

ホームページも
見てね！！



1 (一社) 信州親子塾 (長野市)

新型コロナウイルス感染症の影響により居場所をなくした子ども若者を守る事業

【活動内容・成果】

新型コロナウイルス感染症によって起きている学校を含む社会情勢の変化に、大きく影響の受けやすい発達障害やHSC(過敏すぎる子)を抱える子ども若者を対象に、親を含めた相談、避難場所の提供、緊急要請に応じた送迎、食事と生活場所の確保等の対応をした。精神的ショック症状があり家にいられない子は、ウィークリーマンションやスタッフの家で保護・学習形態の変化に対応出来ずに提出間際になってパニックになった子は、精神の安定のために話したりレポートの作成を行い、土日も徹夜で対応するなど、その家族への対応も含め丁寧に支援した。この活動で20名の支援と延べ70名の相談支援を行った。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

この度は、貴重なご寄付をありがとうございました。発達障害やHSC(過敏すぎる子)とされる子ども若者にとって、コロナによる影響は大きく、家族関係のちょっとした変化や経済状況の不安でもうこれ以上生きられないかもしれないというくらいに追い込まれています。そんな時、分かってくれる存在と安心して自分になれる場所があれば、救われる命も少なくありません。支援する中で、安心して眠れる場所と食べるものの確保が必要不可欠ですが、家庭の経済的困窮により諦めざるをえないことも多々あります。今回、皆さまのご寄付によりすぐシェルターを確保したことで2名の若者の命が救われ、新たな人生を歩み出すことに繋がりましたこと、心から感謝します。

2 暮らし・雇用・営業をまもる反貧困ネットワーク佐久 (佐久市)

まちかど生活労働相談と対象者への食事提供

【活動内容・成果】

佐久地域でコロナ禍により、会社指示の休業・営業の不振による仕事の減少による休業した人、解雇・路上生活者たちを対象に相談支援や米・野菜・缶詰等の食材の提供を行った。コロナ禍での支援のため、会場の支援者を少なくして実施したが、相談へ来る人は、例年より1.5倍ほどに増えた。そのため食材や支援物資の費用も増えたが、寄付金で購入でき、今後の支援の目途がたった。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

私たちはリーマンショックの不況の頃(2009年)から佐久地域の生活困窮者の相談支援活動をしてきました。現在コロナ禍で、佐久地域でも解雇・休業・仕事の減少等で、支援を求める人が急増しています。このような状況下での寄付者の皆様の支援は、利用者への食事や支援物資の提供を継続するための資金とともに大きな励ましをいただきました。ご寄付いただいた方の暖かい支援が、共同募金会を通じて、生活に困窮する人々にとって、不況を乗り越える大きな力になっていることを実感しました。本当にありがとうございました。

佐久ネット ひとりで悩んでいませんか？ まずは、話してみませんか？

まちかど生活・労働相談会

開催日：第4水曜日 9時30分～12時
(生活・労働などのなんでも相談会) 会って！
毎月開催 第2水曜日 17時～19時 話して！
(生活保護中心の相談会) ホットして！
会場：佐久市野沢びんころ通り (案内看板あり) ホットになる

団体名	電話	相談・支援内容
佐久・生活と健康を守る会	0267-68-2171	生活相談全般
佐久地区労働組合連合会	0267-63-6506	労働・労働相談
佐久地区生活支援会	0267-62-4008	労働・生活相談
佐久地区生活支援会	0267-25-1307	労働・生活相談
佐久コスモスの会	0267-64-8786	障害・多量支援
ツインシティ労働組合	0267-25-1307	労働・生活相談
佐久農林漁業・農林センター	0267-62-9648	農業支援
新田建設人会 佐久・日田支部	0267-62-5628	生活支援・救済

その他：専門家との相談可(弁護士・税理士・薬剤師など)

3 (特非) 辰野自立生活支援の会 あかり (辰野町)

町内の小中学生におにぎりの配布

【活動内容・成果】

「若い世帯も仕事・子育てに追われ大変ではないか」という気づきから2年前から辰野町の小中学生(特に土曜日に保護者がいない家庭の子ども達)を対象にこどもカフェや学習支援を実施してきました。コロナ禍で実施してきた活動ができない中、独自事業として3密にならないよう野外でお弁当の配布とプロの演奏家のご厚意による生演奏会を開催した。今回の活動を通し、今まで関わりのない子どもがいる家庭から連絡をいただき、繋がることができ、支援ができた。これからも丁寧に対応していきたい。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

皆さまのご寄付によりコロナ禍の子ども達に「おにぎり弁当」を無料配布することができました。今回の活動は、食材費等の経費のことを心配していましたが、皆さまの寄付金が背中を押してくださり、5月23日90食、6月20日100食のおにぎり弁当を配ることができました。8名のスタッフで衛生管理に気を付けているどり豊かなお弁当が出来上がりました。子どもたちは、「もらっていいの!？」と嬉しそうにお弁当を持ち帰っていました。7月の活動にもつながりました。ありがとうございました。

4 (特非) たくさんの手 (富士見町)



コロナ感染防止のため、 外出を控えている家庭への支援

【活動内容・成果】

外出を自粛している、乳幼児を持つ家庭への電話での安否確認・相談の受付を独自事業として実施。緊急事態宣言により、小さな子どもを守ろうとする親にとって大きな影響を与え、後々まで不安を引きずるケースも少なくなかった。また、通常の生活に戻ってから、日常に戻していく大変さや、戸惑いを感じて不安定になっている子どもがいることも把握できた。ボランティア延べ21人で月の相談件数80件に対応した。

Zoomを利用したオンライン座談会を実施。利用した親子はお互いの顔が見えることで嬉しい様子がうかがえた。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

皆さまからお寄せいただいたご寄付で、オンライン支援ができる環境を整えることができました。小さな子どもを育てる家庭は、ただでさえ孤立感や育児不安を抱えやすく、このコロナウイルス感染拡大の不安は脅威でした。そんな中、オンラインや電話であっても人と繋がったことで元気が出たと声をいただくことができました。

ご支援いただきました機材を活用し、こんなときだからこそ繋がりを大事にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

5 下手でいい！下手がいい！ 心通わす絵手紙の会 (佐久市)



絵手紙を通じて地域住民の思いや感謝の 想いをひとつに繋げよう

【活動内容・成果】

シニア大学卒業生を中心に、保育園、小学校、中学校、高校、一般住民に協力いただき、コロナ禍で日常を支えてくださった方々に対して感謝の絵手紙を700枚作成した。作成した絵手紙は佐久地域の病院、介護施設、学校、郵便局、合同庁舎に展示した。医療従事者をはじめとして日常を支えてくださった方々に感謝の思いを伝えることができた。絵手紙を通じて、個人としての繋がりの確認と新たな繋がりができた。コロナ禍にあって新しい生活様式の中に絵手紙を取り入れ、それを通じて交流するというスタイルの提案ができた。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

人と人が互いに会うことが制限され、また社会的距離を置くことで、個人そして地域での繋がりが希薄になってきています。その中で、絵手紙を通じて個人的にも地域的にも繋がりをづくりだして今を超えて明日に繋げようと事業を企画しました。参加してくださった方々は園児から児童・学生そして一般住民、シニア世代に及びます。その数700余名です。いただいた絵手紙で展示作品を作りあげて展示し、医療関係者をはじめ地域住民に元気と希望をお届けすることができました。この事業を進められたのも寄付者の皆さまの支援があったからこそできました。ありがとうございました。

6 おやあ？カフェ (富士見町)



学校再開時において、強く不安を 抱えやすい子どもとその親のサポート

【活動内容・成果】

不登校や行き渋りの傾向があったり、学校で過ごすことに不安を抱えている様子があった小学校に通う子ども達のために、放課後3時から5時半まで、学校帰りに宿題、工作やゲームを好きなように楽しめる居場所を提供した。また、我が子の行き渋りや、生活リズムの変化等により疲れがたまっている親の相談に応じ、必要と思われる親子には専門機関や相談窓口へ繋いだ。利用した子ども達は、新一年生で、学校になかなかじめず毎朝泣いて登校していたが、この活動がある日は放課後が楽しみで学校に行き、ボランティアとも交流するようになった。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

長い休校後の学校再開。新しい過ごし方にちょっと疲れてしまった子ども達や、このタイミングで入学した不安の強い子ども達も多く来てくれました。宿題を済ませたり、楽しみを共有したり、小さな集団でリラックスして過ごすことで、お家でもご機嫌よく過ごせたという保護者さんの声もありました。

子ども達は、つい夢中になって「密」になることもあったので、いただいたご寄付でソーシャルディスタンスが確保できるように机を買ったり、少人数で遊べるアナログゲームを購入させていただきました。ありがとうございました。

7 (福) 富士見町社会福祉協議会
(富士見町)



Pono(ポノ) 福祉緊急出張所 (新たな居場所における生活様式に
おける生活様式に向けた活動支援づくりへの取組場所)

【活動内容・成果】

コロナ禍で休校が長引く中、家にいる時間が長くなり、お腹を空かせたり、虐待を受けたりする子ども達とその家族を少しでも守っていただける居場所の確保を実施した。町内の学校から学習支援が必要な子ども達の支援を教育委員会や民生委員と社協が協働して①～④の活動を行った。

①家庭で満たされた食事を摂取できていない子どもに食の提供。②家庭でのネグレクトがあるかどうかの確認。

③不登校の理由の1つである日常生活のリズムが通常でない子どもを指導。④子どもがいつでもそこに行けば安心できると思えるような居場所とする活動。支援対象者の一人で、外国から来日してきた児童は、日本語が理解できず、笑顔の少ない学校生活を送っていた。この支援事業の中で日本語を学習し始めたことで、学校生活で自分から話す機会も増え、部活動に入部することもできた。支援した子どもにとって、安心して自分は自分であることができる居場所となった。

8 (特非) ITサポート銀のかささぎ
(長野市)



貧困家庭へのオンライン学習支援活動

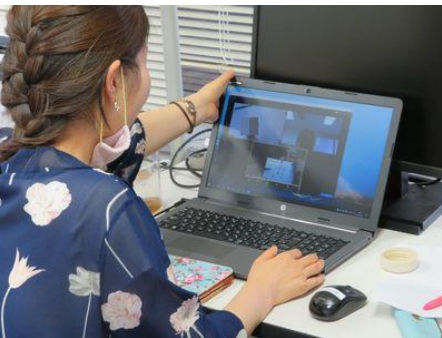
【活動内容・成果】

児童養護施設で子どもの居場所づくり、ICT学習支援を実施した。支援時には緊急事態宣言が解除されていた頃だったが、ソーシャルディスタンスに気を付けながらiPadのアプリを使った学習支援を行った。ボランティア延べ16人で57人の子ども達を支援した。希望する子どもにはiPadを使いオンラインでの学習支援も行った。初めは緊張していたが、順次打ち解け家庭での出来事のお話しなどもできるようになった。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

私たちは、8年前より児童相談センターや児童養護施設で学習支援を行ってきました。今回の寄付金で、児童養護施設等で学習支援、及び希望者にオンライン学習支援を行いました。成功体験の少なく、褒められる喜びや人とのふれあいを求めている子ども達の学習をサポートし、励ますことで、子ども達のやる気を育て、学習への意欲を駆り立てることになるのではという期待で活動しています。ありがとうございました。

9 (特非) ながのこどもの城
いきいきプロジェクト (長野市)



子どもの居場所@バーチャル

【活動内容・成果】

学校も長期にわたり休校となり、子ども達の学習の遅れが心配される中、台風19号に被災した地域では、二重の困難に追い込まれている。そのような状況にある子ども達を対象に、高校生・大学生の学習ボランティアと共に、オンライン学習支援を長期的に開催し、新たな「学びの場」を提供した。ネット環境が不十分な家庭については、開催の都度、タブレットを貸し出した。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

赤い羽根募金にご協力くださった皆さまに心よりお礼申し上げます。皆さまのご寄付により支援に必要なパソコンを購入させていただきました。この活動は、台風19号に被災した地域の中学生と、高校生・大学生・社会人ボランティアがオンライン上で繋がり、サポート付きの自習などいくつかのコンテンツを楽しみながら共に時間を過ごしています。今後も活動を継続していく中でご寄付いただいたパソコンを有効活用させていただきます。

10 岡谷子ども劇場 (岡谷市)



心をつなぐ、笑顔を贈る、生の体験

【活動内容・成果】

コロナ禍において家族で野外に出ることがなくなっていた、6月に子育て会のボランティア9名で人形劇を運営し48名の方に参加いただいた。参加いただいた家族からは「各地でイベントが中止になり、子ども達が遊べる場所も限られている中、野外で楽しめる催しはありがたい。子ども達も喜んでくれた。」という声もいただいた。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

この度は、皆さまの尊い寄付をいただき、心より御礼申し上げます。私たちは、子ども達に生の舞台の感動を届けたいという思いから設立された子育て親育ちの会です。新型コロナウイルスの影響で、活動は一時停止状態でしたが、野外での鑑賞会を計画したところ、県内在住の芸者さんの協力と皆さまの善意のお陰で、私たちの思いは実を結びました。これからも子ども達の心身の成長を支えるため、活動していきます。

11 信州こども食堂 古里こどもカフェ(長野市)



日常生活に不安を抱える子どもと家族、 一人暮らし高齢者の緊急支援

【活動内容・成果】

台風第19号の被災地である赤沼でテントを張り子どもとその家族や一人暮らし高齢者にドライブスルー形式で食材や手作り弁当等を配布をした。避難所としても使われた運動公園でドライブシアターを行った。その際、手作りおこわ寿司や手作り弁当、食材も配布を行った。被災地域の行事が全て中止となってしまう中、来ていただいた方には「この活動を頑張っていて続けてください。」とお声掛けいただけた。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

台風第19号被災地での活動は、新型コロナウイルス感染の影響で様々な対策を盛り込んだ支援活動をしています。被災地の子ども達の笑顔や、一緒になって活動に取り組む大人の背中が共に子ども達を育み、勇気を伝えられる貴重な体験の場となっています。皆さまに頂いたご寄付で、活動に必要な食材、非接触型温度計等の備品、ハンドジェルや使い捨て容器等の消耗品を買うことができました。貴重なお金をありがとうございました。

12 めぐる食堂 (信濃町)



めぐる食堂配食事業

【活動内容・成果】

令和元年台風19号に被災し、コロナ禍の影響で一斉休校していた子どもがいる世帯、一人暮らし高齢者世帯、住居の調理器具が設備されておらずレトルト食品で食事をまかなっている世帯を対象に無料の配食活動を実施した。5人のボランティアで、1日50食を作り、仮設住宅に住む世帯を訪問し配食する活動を11日間実施できた。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

今回、皆さまからの貴重なご寄付により、台風第19号に被災し、かつコロナ禍に伴う緊急事態宣言および外出自粛のために、孤立する一人暮らし高齢者や、食材の調達が困難な世帯、あるいは、一斉休校に伴う子ども達への食事の準備が困難な世帯へ向けて、配食活動を実施することができました。どうもありがとうございました。

13 (特非) 飯綱高原よっこらしょ (長野市)



ヤギキッズ@バーチャル

【活動内容・成果】

「※フリースクール」に通う児童や飯綱高原周辺の小中学生生徒を対象に今までの繋がりを維持できるよう、みんなで高原で農作業、ヤギのお世話など、3密を防止できる野外での活動を行った。里山の課題解決に繋がる作業となった。

※フリースクールとは

何らかの理由から学校に行くことができない、行かない、行きたくても行けないという子ども達が、小学校・中学校・高校の代わりに過ごす場所。不登校やひきこもりをはじめ、軽度の発達障害、身体障害、知的障害などの事情を抱えるたくさんのお子さんを受け入れ、学びの場を提供している。

14 (特非) ぽこ あ ぽこ (茅野市)



地域の親子応援事業

【活動内容・成果】

茅野市にある蓼科ポニー牧場で地域の親子の応援企画として、新型コロナウイルス感染拡大での自粛生活の疲れを癒す時間とするための牧場体験の活動を実施した。子どもの笑顔が家族の笑顔になり、自然の中で開放された場所・そして人を優しく受け入れるポニーの触れ合いと、乗馬の時間を作ることによって参加者の方々の心と身体の癒しの時間になりました。

【寄付者へのありがとうメッセージ】

寄付者の方ありがとうございました。コロナで長い自粛生活から、久しぶりに森林の心地よい環境の中で家族そろって参加することができて良い時間を過ごすことができました。初めて馬に乗る体験ができ、貴重な時間を過ごすことができました。子どもの嬉しそうな様子がたくさん見ることができて親も笑顔になりました。心がほっこり癒された時間になりました。ありがとうございました。